大正二年三月二十五日發行（毎月一回二十五日發行）

四月號

婦人新報

第百八拾九號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百八十九號目次

社説

奮闘努力 林歌子

をしへの庭

婦人の友イエスキリスト ゴルドン氏

エゼキエルの豫言 靈南坂教會牧師 小崎弘道氏

主及其力によりて強くなるべし 井深花子

講演

男女平等論 安部磯雄氏

新しき女舊き女理想の女 釘宮牧師

もしほ草

すぎこしかた 矢島楫子

ホーム

米國よりの書翰 オベリン大學 小崎道雄氏

衛生雜話 記者

文苑

早春の探梅 女子學院 坂本榮子

恩師に謝する文 同 金森たき子

はたらき

瑞典皇室の御事ども

臺灣紀行 ルース、エフ、デビス嬢

臺北よりの書翰 渡邊常子

外賓席より見た衆議院

おとづれ みとり

社告

◎婦人新報定價(郵税共)

一部(前金) 金六錢

六部(前金) 金三十五錢

十二部(前金) 金七十錢

(郵券代用一割増)

◎廣告料

一行(五號活字) 金十錢

大正二年三月廿三日印刷
大正二年三月廿五日發行

發行兼印刷人 矢島楫

編輯人 高原孝

發行所 東京市麹町區上二番町卅三 矢島方 婦人新報社

編輯及事務所 麹町區上二番町卅三 矢島方

No. 189 MARCH. 1913

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Strenuous Effort.................................Miss. Uta Hayashi.
Christ as the Friend of Woman.........Dr. Gordon.
The Profecy of Ezekiel.......................Mr. Kozaki.
Strength comes from the Power of Lord..Mrs. H. Ibuka.
Equality of the Sexes:.........................Mr. Isoo Abe.
The "New Woman" the Old-fashioned Woman and the Ideal Woman......Mr. Kugimiya.
Reminiscence....................................Mrs. Kaji Yajima.
Letter from America...........................Mr. M. Kozaki.
Literature... Miss. Sakamoto. / Miss. Kanamori.
Sketches from Formosa.......................Miss. R. F. Davis.
Letter from Formosa...,......................Miss. E. Watanabe.
Reports...

FUJIN SHIMPO OFFICE.

c/o Mrs. Yajima, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報

第百八拾九號

奮勵努力

林　歌子

禁酒法案衆議院を通過す

「一人の亡ぶるをも欲み給はず衆人の悔改に至らんことを欲み給ふ」、愛なる神の聖旨を奉戴して、神の爲め國の爲め、家庭の爲めと、課を分ちて働きをなす、我婦人矯風會は、禁酒禁煙の方面には、優勢なる禁酒會ありて、安藤會長、根本副會長等の熱心なる御盡力ありて、曩きに、丁年未滿者の禁煙法案を通過し、今年も遂に禁酒法案衆議院を通過せりときく、實に快事ならずや。丁年未滿といへば中學時代の生徒は、公然杯を口にする能はざるに至る、生徒に禁ずれば自然中學時代の學校に公然酒を用ひぬ事になるべく、一日も早く其法案が貴族院を通過し法律となりて、禁酒の美風の盛ならんことを祈る。

至難なるは貞操問題

多年の習慣程恐るべきものなく、男女貞操の問題に對しては、世人の感想實に薄弱にして、醜業公認制度公娼あるを怪まず、こは惡しき事にはあれども、昔より存在せしもの丶需用供給の必要によりて起りしもの且公娼は檢黴あれば害毒少なからん、今此の公娼を廢せば、私娼蔓延して、止むところなからんと。これ罪惡を分量視して、一方に拒げば一方に溢る丶水の如き物と思ふの大なる誤り也。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

醜業と盗賊と一視せよ

「石川や濱の眞砂」とあの强盗が申せしとか。如何に法律を以て禁ずるも、社會の制裁は嚴重なるも盗賊を根絶することは難し、併し到底斷えざるものなればとて、一區域に限りて公認し營業として官より保護するとせば如何。それ程手温き政府の下には絶對的に禁止の出來ざるもの自制は不可能と政府すら公認するとせば、それに見習つて遂には時も所も隔てなく見習ふ者各所に起らん、是公娼設置の附近には私娼亦集り、魔窟は勢力を逞ふするに至る、或る縣の警察官の言に我縣下に公娼二百人あり、私娼亦二千人ありといふ姿なり。

同盟國の實例

英國にて今より卅年前、公娼を廢せし時の經驗はよく現在の我國に當箝れり。醜業公認制度を廢止なしたる際に、公認主義者の大騒動は國内にも歐洲大陸にも勃興し、其論旨とする所は、「醜業より生ずる疾病は公認制度の下に増加したるには相違なきも併し其疾病は同制度廢止後には一層甚しき速度を以て増加せん、全國は醜猥病を以て侵透されん、海陸軍は腐滅せん而して全英國は破壞されんと」

然も事實は正確に其反對にして、三十年後の今日は花柳病を原因とする死亡登錄數は、三十年前に比して其數の半に過ぎず、此種の疾病の遺傳より生ずる小兒死亡數も、三十年前に比すれば亦其半數に過ぎず、徴兵檢査に黴毒の爲に除かる丶壯丁の數は、三十年前に比して僅に六分の一に過ぎずと」

「これ萬國同盟廢娼會派遣員モリース、グレゴリー氏が我が國の爲に親切に書き著されたる歐洲諸國醜業公認制度廢止運動に明細なる表にて示さる」

廢娼縣の群馬和歌山を見よ

全國中花柳病の最も少きは廢娼縣たる群馬縣にして千人に付十五人三分五厘、又關西にては和歌山縣或る小部分を除きて大體に於て廢娼縣なり千人に付十八人一分二厘、大阪は三十七人九分九厘、東京も三十七人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三分五厘、尤も多きは徳島縣の四十七人四分二厘といふ、先年和歌山縣新宮町に私娼二三十人ありといひて公娼四十人を置きて私娼も九十人に増加し、風俗紊れて、是迄戸を閉づることなくして安全なりし新宮町は番頭の持逃げ、小僧の墮落風紀の壞亂甚しときく。

議論の餘地なき問題

斯く明白なる問題が何故冷淡に世人に閑却せらるゝか、歐洲に公娼制度の輸入は百年前那破翁の征服時代にして、佛國最も早く、英國最も遲く、五十年程前に海軍及び陸軍を中心として此制度公認せられ、爾來十七年間は大なる論爭を繼續して、遂に三十年前に全く廢止して、前項の好結果を得たりとすれば、恐るゝ事なく斷行すべき事柄にして、法律は已に明治七年に人身賣買は禁止せられ、今も全國四萬の公娼が若しも自由の意志によりて、今日限り名簿削除を願ふと訴へ出づれば直に許可せらるべき法文は明白にてありながらも、因襲の久しき我國にては、急に之を廢すること中々至難なり。米國にては五十年前に奴隷廢止の爲めに四年に亘る大戰爭をなして遂に其目的を達し人道の光を發揮せり。

公娼は我等の姉妹なり

此風俗を亂すために犧牲たる者は誰ぞや、大和民族我等の同胞姉妹に非ずや。米國人が奴隷のために戰ひし比に非ず。

海外に出でて醜業を營み國辱を曝らし、我國は醜業婦の輸出世界第一等、犯罪者の多き世界第一等ときくは何たる悲しき事ぞや。一夫一婦の大倫を守るべき刑法改正、海外醜業婦取締は、議會開會以來の我黨の宿願なり。女子教育と大矛盾せる公娼制度廢止を叫ぶべき、張本人は私共婦人たるべきなり。

已に社會と戰ふの具は備はりぬ、廓清の方面には有力なる男子方の助けあれば、一層私共は奮勵努力して公娼制度の如きものをして過去の物語たらしむる日を來らせん爲めに奮勵努力せん。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人の友エスキリスト

ゴルドン

我等の主であるエスキリストは特別の意味に於て婦人の友である、此主は總てに友なりしが特に婦人には友であつた。人間が罪あることを知り給ふて救ひ給ふた。人間が汚れたのを知つて清め給ふた。人間が悲しみにある時に喜を與へ給ふた。故にキリストは友である、凡ての人はキリストを救主としてうけ入るべき理由である。

キリストは婦人の心を他の者よりもよく知り給ふたそして婦人に對し非常にやさしい心を與へ給ふた。キリストは其接するものを豊かになさしめ給ふた。信者といふ語即ちクリスチヤンといふ語は深い豊かな意味をもつてゐるキリストによつて言語が豊富になるといふ事について話して見たい。

第一 婦人

婦人といふ言葉はキリストが出で給はぬ迄は奴隷であつた、極く男子より低いものとされて居つた。男の後になるべきものとされてあつた、然るにキリスト出て給ふてよりやさしい高いものとなつた。男の爲によき友として好伴侶として行く樣になつた。キリストは男子に婦人に對してなすべき道を教へ給ふた。此事は今より學ぶべき事である、西洋諸國に於てキリストを信ずる處でもまた充分にされてゐない。

人類の結合は兩立して初めてなる、男子のみにては完全でない。即ちそこに婦人の意味があるのである。

第二 妻

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

創世記の初めにある婦人である、神は男の足を以て女を作り給はなかつた。新たに作られた女は決して男子の奴隷として作られたものでないしるしである、そのかはりまた男子の頭を以ても作りなされなかつた故に男の上に立つべきものでもないのである、只此心臓わきの骨で作られたといふ事である、故に婦人は男子の助手であらねばならぬ、妻といふ語の意味はそこにあるとおもふ、上に立つべきものでもなく支配を受くべきものでもない。夫を種々の方面より助けるのである、婦人は男子に順ふべき様に敎へられてある、男子はまた婦人を導かねばならぬ、導れゆくには從順は大切なる事である、それ等はみな相互の愛より起るものでなければならぬ。

第三　母

婦人の言葉の内に母程淸く尊いところの言葉はないキリストは實に母といふものを淸く見給ふた、母といふ事をおもふとキリストが此世に出て給ひし事を思ふ神の御子は母より生れ給ふた、神が母をして子を生ましめ給ひしより婦人を尊くした事はない、母の義務は一番神に近いものである、母は其子の爲には命を捨てる、人類の爲に神は凡ての力を與へ給ふた、神は婦人を母とするが爲に大なる力を與へ給ふた。母をして神のかたに造り給ふたのである。

第四　子供

世界に子供といふ言葉を敎へ給ふた。キリストが出でまさゞりし時は小供といふ語は輕蔑を受けておつたキリストは子供の淸く愛すべきものである事を敎へ給ふた。キリストを信ずる國に於ても幼子の愛すべく淸きものであることは遲れて知つた事である、また男女の子供を等しく見給ふた、キリストを知らぬ國に於ては女兒の眞價を知らぬ處もある、然るにキリストはそれ等の大切なる事をよく敎へ給ふた、然し世間は充分に知る事が出來なかつた、十八世紀に於て個人主義が主張された、それまでは人は集合體として知られてゐ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た、個人の權利が認められた後、十九世紀に於ては婦人の權利を認める樣になつた、廿世紀は子供の權利を認める時になつたのである、キリスト出てまして敎へ給ふた結果はかくなつて來たのである。

第五　愛

キリスト出でまさゞりし時に於ては愛といふ言語は惡い意味であつた。キリストは大膽に此愛につきて語り給ふた、而して淸し正しきものとし給ふた、いかなるものなるかを敎へ給ふた、心の基となるべきものは愛であると、人々を愛せねばならぬ、其愛は神の愛であらねばならぬ、神は卽ち愛である、愛によつて正しき事、淸き事を行ふ、すべてを愛で支配せねばならぬ若し男子に愛ありとすれば婦人は一層愛がなければならぬ。

第六　家庭

第一より第五までを合せたものは卽ち家庭である、家庭の現實てゐない處がある、家屋があつて家庭のないところがある、キリストの出てまして後の家庭は其以前の家庭と異なつてゐる、前は家庭は只衣食住を滿すに止まつて居つた、命令の場處であつた、然るに後にあつては、男女の慰安を得る處、人間があらたに生れるところ、男子が息むところ、愛の滿ちてゐる處となつた。

是等述べた六つの語は皆婦人の言語である、一つの言語をキリストは斯くまで豐富なる意味を與へ給ふたかくあると共に婦人にキリストは最も親しい友となり給ふたのである。

キリスト來り給ふて婦人は女王の如く淸き尊きものとなつた。

不思議なる力を以てキリストは婦人の心の戸をたゝき給ふ、其友になる樣に求め給ふ、婦人はキリストを迎へねばならぬ、キリストの友となる樣に求めねばならぬ、友となりし婦人の幸はかぎり知られぬものである。

（以上はフレンド女學校に於て三月五日生徒の爲にゴルドン氏が講話されしを許しを得て記載したるものなり、文責記者にあり）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

エゼキエルの豫言

靈南坂教會牧師　小崎弘道

聖書の豫言には四ッの大豫言と約十二の小豫言が記載されてある、イザヤは豫言の大なるものとして舊約の福音と申して居り、以西結は大豫言の一つで牧界の書と云はれて居りますだけ、多くの喩があり又なかなか面白く記されてあります。

一

第一、一度敎を信じて再び信仰を失つた人の有樣を骸骨に喩へてある、骸骨が生々しい時は臭氣がありますが、長い間雨に風に曝されますと少しも臭氣のない枯骨となります、神の敎は枯れた骨にでも一度聖靈が下れば復活つて生きた者になり得ると云ふので、幻に見た樣に書いてある。以西結三十七章にヱホバ谷の中に彼を御導になつて行て見ると谷の表には枯た骨が充ちて居つたとの事である、是等の骨について豫言せよと仰せになつた時、彼エゼキエルは不思議に思ふて居りまする內、ヱホバの力によりて骨は動きて互に聯り筋肉その上に生じ、皮も其上に出來たので人間の身體となつたが、まだ命がない、ヱホバ息に豫言せよと仰せられて彼は其通りに致すと、皆生きて足にて立ち多くの群集となつたとあります。この豫言はユダヤの人が皆墮落して神を忘れて丁度枯骨の樣にばら〳〵になつたと同じ有樣であつた、斯樣に枯れ果たものが生かへる事の出來たのは神の聖靈が有つたからであります信仰もやはり古、今を問ひません、ほんとに神から遠さかつた望のない者も神にかへる事が出來ると云ふのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二

第二、四十七章に記載されて居る水の幻で一千キュビットの時はエゼキエルの踝骨に及び、次に膝まで、それから腰迄になり、遂に水が高くなつて及ぶ事が出來ない樣になつた時、エホバは彼を河の岸に沿ひて引かへり給ふた、河の岸の彼方此方には衆多の樹々生ひ茂つて、水が流れ行けば死海の水も清くなり、アラビヤの野も潤ふて草木を生じ、魚も澤山、穀物も豊になるとの幻である。神の敎がエルサレム(ユダヤ)から出て、最初は極微々たる十二人の弟子でありましたが復活の時は百二十人、昇天の時は五百人、ペンテコステには三千人となつた樣に、初めは少しつゝ水が流れだん／＼スリア、小アジア、マセドニア、ルマニア、イスパニアに傳はりローマ、獨國、英國、露國も皆キリスト敎國になり、今日は日本、支那、印度にも及ぶ樣になりました、之によりて荒れ果てたるものが快復され美しい社會となる樣に變つて來ると云ふ事に喩へてあります。今年は大正二年で、何人も口癖の樣にこの年は精神上の革命がなければならぬ、精神上の維新がなければならぬと、誰云ふとなく新らしい力が加はつて斯の樣な水が必ず流れ來るに相違ありません。

三

第三、三十六章二十六、二十七節に新らしき心、新らしき靈魂、石の心とある、この石の心とは頑固と罪で固まつて何等の感情のない心で、神の恩惠を感じない、キリストの十字架を見ても平氣な頑固な心を云ふのであります、次に肉の心とありますが、此處では從來の云來りの樣に下劣な心を云ふのでなく、良い心、石の心に反對で感じのある、人に對して同情の感ある神の敎を聽て感激する、敎を聞て受入る心を指してあります。一體種々の者を造る例令へば一つの器を造るにも、石を砕いて粉にして好く砕けますればよい者となり、砕けないと善く出來ない樣に神の聖靈によつて御心に叶ふ器に造られるのが此處に所謂肉の心である

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

即ち神の法則を守つて行く心を云ふのであります。信者は概してやさしい心をもつて、幼子の如く生れかはつた心を持つ筈である、大事な事は、神は砕けたる心を悦び給ふので、老年になると兎角頑固になり易いからして氣を付ねばなりません、固まつて仕舞と生命がないのですから、いつも聖靈に充たされて行く事が大切であります。

四

眞の幸福は心から困つた人に同情を表し、悲しむ者と共に悲しみ、喜ぶ者と共に喜ぶ事によつて得られるので、少しでも心にわだかまりがあつてはいけません日本は他の國に比べまして肺病が多い、黴毒も癩病も其通りである、癩病人については人々が考へて參りまして熊本にも天主教の人の設けた癩病院があり、私が參りました時、當事者に向つてさぞ病人は喜ぶ事でありませう、人から嫌はれる病人を外國の方が御世話して下さるからと申しましたら、病人は心が頑固になつて居るから喜ばないが難有がつて居る。私共は有難と思はれないのが幸であります、人から報いを得る爲にこの事業をして居るのではなく、神に對して人のなすべき事をして居るので喜ばない樣な人に親切をするので、眞の働となるのであると申しました。此の樣になる迄進まなければ神を喜ばす事は出來ません、やはり石の心では出來得ないのであります。（文責記者にあり）

主及其力によりて強くなるべし

井深花子

婦人矯風會は神と國家と家庭のために働く仕事でございまして、あらゆる罪惡を除き去り美しい清い者と

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

致すために、私共は萬國の人と力を併せて働いて居ります此の國に居ります間はこの國から罪惡を除き去つて、立派な家庭を作り出すのが私共の責任でございます。只外に向て働かふと思ひましても、心の内に感じて居りませんなら働く事は出來ません卽ち不絕矯風會を頭に置て善を勸め惡風を革めるのみならず、自分自身を顧りみて矯正しなければならないと存じます。只今讀みました以弗所書六章に「主及び其力によりて強くなるべし」とあります、之は夫にも反抗し、姑にも爭論を仕掛けて己れ一人大將となる樣な意味の強いのではございません、私共の強いと申すのは、或る意味に於て負て勝つと云ふ心の内が強くなると云ふ事でございます。

昔の女はなか〳〵強くありました、仰山に盜賊等が參りましても、少しの事に慄く樣な事はありません。さらばと申して賊をひどく致すのではなく、むしろ落付て臨機應變の處置をとつた樣に覺えてをります。之は皆武士の家に生立ますると、薙刀だとか何か武藝を仕込まれるのでそれが力になつて居つたからでありませう。只今は男子の方でも武藝は衰へて居りますから婦人が昔の樣な折を得る筈はございません、それならばと申して何も便る處のないのはまことに心細い事であります、ほんとうにキリストを信じて、キリストを武器とたのみ正義の戰を致しまするならば、眼前にどんな者が見えて居ても落付て居られるわけです。ところが私共は永い間信者でありますがもし盜賊が參つた時、落付て說諭でもして歸す丈けの度量がありませうか、覺束ないと存じます、それが出來ませんときには却てどろぼうに負かされるのであります。

一羽の雀、髮の毛皆數へらるべしとの神の御言葉を思ひまする時、靈を殺す者を恐れなければなりませんすべて神の許可がなければ出來ないと云ふ事を信じて居りますなら泰然として困難に打勝つ事が出來、少しの事に淚が出たり、ぶる〳〵慄へて居るやうな事はありません。人の爲に働き人に盡さうと云ふにはまづ自分が強くなければたらないのに、人の怒る時、人の泣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く時、人の困難を感ずる時その人々と同じ樣に怒り、泣き致すのはまだ信仰が足りないので、人から不親切に仕向けられたとき直ぐ感情に現はして、あとで實に心持の惡い、お耻かしいと思ふ事が屢々ございまして之は實に自分の修養が足りないのだと思ふて居ります皆樣はどう御感じになるか別りませんが波風のない御家庭に居られましても何か御困難がある時がお有になりませう、殊に上流の家庭に居られまするとどうすれば此の波風を凌いで行ふかと御考になる場合が起らないとは限りません、斯る時こそ強い婦人となり如何なる場合にも平和をもつて續けられる樣に御用意をなさる事の必要であるのは私が申上るまでもない事でございます。

只今歌ひました讃美歌にたりほは色づいて居つても働く人が少ないと記してあります。婦人の位置は高まつて居りますが、女子のなすべき事、子供の教育につきましても世の中が腐敗して來るに從ひ各々が夫に對する感化に於ても實に〳〵責任が重くなつて參りました。それであるのに虛榮にあこがれて、流行に後れてはとか、人の前に出られないとか申して、人に見られる事ばかりを考へて居つて、肝腎の家庭の亂を救ふ精神がありませんならば、みのりかけたる者も只無益に落て仕舞ませう。自分も二十年前に斯くありたいと思ふて苦んで居た事を只今でも實行する事が出來ませんので殘念に存じますが、どうか御互樣に主によつて強くなる處の神の武具を以て裝ふと云ふ事を心掛け、人より來る敵よりも自分の心の敵と戰ひ、外にはおだやかなる劍を以て惡魔をふせぎ、婦人の責任を完ふしたいと考へます。

（芝婦人矯風會にて、文責は記者にあり）

廿世紀の男女（阪本正雄著）

著者は統一教會の會員で、滿二十歲の青年である。此書はつまり著者の宗教觀、人生觀男女觀、時勢觀など極めたるものである。四六版百餘頁の小冊子に過ぎないが、二十才の青年にしてこれだけ、自己の思想をまとめ得るといふ事は、誰れでも出來る技能ではない。感心なものだ。其思想も頗る健全である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

講演

男女平等論

安部磯雄

▲日本婦人が南洋の女王となる

前辯士は男女不平等論を演ぜられたが私は之と全く反對であります。下等動物に就てすべての動物が女性は男性に劣る人間もやはりそうであると承りましたが私の聞て居る進化説は、進化と云ふものはそれ自身進化しなければならぬと云ふ事で、スコットランドのヘンリードラモンドの進化説によると、人間の手は昔は五本共同じ長さであつたが、拇指となつたのは手の進化から云へば實に便利な物である、併しこれ以上進化する必要はない、知識を持つ以上は器械に進化があるからそれでよろしいと云ふ事であります。

下等動物の時代は強いものが弱い者を壓するのであつたが、之を人間にあてはめる事は出來難いと思ひます、女子が男子に劣ると云ふのは之迄の境遇によつて成り來つたのであります。アフリカ等では或種族の女子のみ戰爭に出るそうである。先頃報知新聞にも出でをりましたが、日本のある若い婦人（熊本の人だそうである）桃代と云ふ人が南洋のある島で破船した、この島の王樣が大へん可愛がつてこの婦人に弓矢を稽古させた處がなか〳〵上達して及ぶものがなかつた、ある時攻めて參いつた敵に對して、此の婦人は非常なてがらを奏したので終に王の皇后となりましたが八九年の後王が死んでから後も大そう人望があつたので女王となつたそうである。女王はある用事でシンガポールに參りました時、早稻田大學商科を卒業した人と知り合になつて終に結婚して日本人を澤山引連れ彼の島に歸り、しきりにゴムの栽培をして居る、多分數百萬圓

の財産をこしらへたと云ふ事で、尚ほこの島を日本に献上し度と申して居るそうである。

▲男女の腦量に差なし

生れた時から十四五歳迄は男女を區別して育つる別はないが、その時代から以後は勉學するのに不利益であるから自然と別になるので決して女性が男性に劣ると云ふ限りはない。又腦髓がよいとか惡いとか申しますが、ロシアで有名な大醫の論に、女子が男子に叶はないのは男子の腦の量が多いからであると云はれた然し其人の死後に解剖をして見たら女子の腦量よりも少かつたと云ふので、腦髓の量は少しも關係は無いとの事が別つて西洋でも滑稽として居ります。

▲矯風の必要

男子矯風會の根本問題は女子を輕蔑して居る事を改良しなければならないので矯風と云ふ事は女子よりも男子に於て必要であります、男子がしつかりするならば風儀が革まる、婦人を輕蔑する舊い頭を取り除いて之を尊敬する事を實行して始めて矯風の實を擧ぐるのである、然し私は決して婦人に何でも許すと云ふのではない、世の中の泉源は思想であつて此の思想の改革が起らなければならないのです。倫理思想と云ふのは今迄は弱者の强者に對する倫理であつて、臣が君に對し、妹が姉に對し、弟が兄に對する事はよく敎へてありますが、不平等な事を說て道德を修める事はむづかしい事であつて、從て弱者は善く守つて居ても强者は我儘をする、男女を以て云へば婦人よりも男子の方が我儘をする。

よつて對等の道德をすゝめなければならない、同じ位置に於て交つて行けば餘り間違はない、男女問題でも男子が女子を視るのに體力は弱くとも、智力は少くとも人間として之を扱ふ樣になれば、友人に對すると同じく我儘の行爲が出來なくなる、この點まで進んで來てほしいと思ひます。婦人は出しやばつてはいかんなる程或る點に於てはそれもよいかも知りませんが、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

アメリカ等で婦人を議員に撰んだ結果、工女法案等も非常に改革されて工女等も大へん自由を得たと云ふ事である、之等を見ても婦人は只家庭にのみ居れば無益な事に口を出さない方がよいとは云はれません。

▲婦人を尊敬せよ

今日の家族制度が昔の家族制度の様にいつまでも續けられませうか、又持續する筈があるかどうか、士族の時代とは違つて今の家族制度にては婦人が主人の歿後迄も人の補助を受くると云ふわけには行かない、從て普通の婦人は獨立の生活をする處の途を講じなければなりません今日婦人が男子の職業に突貫して參りましたが、之は各自獨立の生活を必要として來た現象であります、新聞には之等を評して良妻賢母を損ふなどゝ云つて居るが、彼等は自營自活の途を講じて居るのであります。

先般來朝されたエリオット博士の講話を一時に新聞に現はしました、其内女子教育の點に於て讀んで不思議に感じました「女子に高等教育を授くれば、家族の中に思想の衝突を起し、賢母良妻を失ふ様になるだらう」私は米國の教育者がこんな事を云ふたと奇異に思つて居つた處が飜譯者の間違で丸で反對の事であると云ふ話です。僅かの文字の意味を轉倒して多くの人を誤解させたのは殘念な事で、博士は「之程の事を犯しても教育せねばならない」と云ふ意味を述べられたのだそうであります。「教育は金が問題であるから、もし婦人が望むならば之等に保護を與へなければならない要は女子と云ふ大生物を平等の眼を以て尊敬をはらひ襟を正しくして婦人の前に立つ、婦人も亦男子の前に正しく起つと云ふ事でなければ矯風ではない。今日の世の中に婦人を尊敬する心の起らないのは、男子が婦人を弄して居るからである、電車の中で正裝したる婦人を見るときに、あれは何處かの妾ではないかと思ふと同時に婦人も男子の方を考へて、男程婦人の前に意くじのない者はないと思ふ、これでは何時迄も相方の人格は上らないのである、よつて切に諸君の御熟考を希望するのであります。（右は男子矯風會の席上講話筆記にして文責は記者にあります）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新しき女、舊き女、理想の女

大阪釵兩國橋食堂　釘宮牧師述

一　新しき女

近來婦人問題は中々八釜敷ものである。即ち「新しき女」と云ふことであるが、其等の女性は隨分極端までいつて居る。先日私の國元から靑年が飛出して來て奇拔な、思ふまゝの事をやつて遊んだが、其の結果御定りの通り金がなくなつて難波の警察の保護をうける事となつた。私は親に賴まれて此の靑年を引受けに參りましたが、其時警部さんと色々の話のうちに、どうもこんな靑年が近來多くなつた樣で困つたことである之は全く家庭の罪であると私が申ました處が、警部さんが申さるゝには、いやどうも近頃は年頃の娘が飛出して來て色々の厄介をかける者が隨分多いと顏をしがめて嘆息せられました。思ふにこんな女は家にあつて兩親の監督の下にあるのはうるさい。思ふまゝの事が出來ぬ。一つ自由な我儘の出來る處に往きたいと思ふ處から來るものである。又た女はつまらん、家庭の中でぐず／＼して生涯を送るより獨立獨歩の男の樣な生活がして見たいと云ふ心から出たものもあると思はれる。之は女子が敎育をうけた結果、自己本位の個人主義の思想が其の心の根底に植付られたからである。また女が男の樣な自由勝手な生活をして見度と云ふ樣な氣前もある樣である。こんな案梅に女性の心の底が狂ひかけましたから隨分突飛な女が日本にもある樣になりました。若い娘が酒屋に酒呑みに行く、また遊女屋にまで押かけたりする者もあるのである。實に驚た事ではありませんか。近來大阪には相當な女學生が女優志願をするものがある。女優ばかりではない。獨身主

義が流行語となつて居る樣子であるが、是等も皆な女子が自己と云ふ事を自覺して箇人思想がしみこんだ結果であると思はるゝ、こんな婦人は家持は大嫌、人の妻となり、多くの子供の母となつて思ふまゝの事の出來ぬ境界に身を置く事が一番いやな事の樣になつて居る。此の氣風を代表した劇や小說が恐ろしきほど多くの女性の心を動かして居るのである。かゝる新しき心をもつて居る女を今の世の人が新しき女と申すのである。それで新しき女の心と云ふは自分の思ふまゝをしたいと云ふ我儘心、自己中心思想である。男の樣にやつて見度と思ふ奇妙な心である。兎角自由自儘の生活にあこがれて居るのである、かゝる理想の上に立てる者は女でも男でも決して幸福な生涯を送る事は出來ぬものである。即ち彼等は拂へど拂へど拂ひさる事の出來ない不如意、不遇な事にのみ出遇のである。それでかゝる立場の人は男にせよ女にせよ、常に不滿、不平失望、小言の絕間がないのである。加之恐ろしき墮落の淵に陷る樣になるのである。

二　舊き女

それで今日の新しき女の氣風を見て驚いてる人の中には是非舊時代の樣な婦人の思想へ返さねばならぬと慷慨し心配して居る方が隨分多いのである。御承知の通に昔の婦人の理想は從順と云ふ事である。若き時は親に從ひ嫁しては夫に從ひ、老ては子に從ふ從順主義であつた。一方から申すと婦人の人格は全く認められて居らぬと云ふ處まで壓迫の下に服從して居つたのである。處が此の狀態まで返さねばならんと云ふて居る人もある樣である。而し之は無理な注文であると思ふ今日は既に男子の樣な敎育をうけて居る女性であつて新聞も讀む、雜誌も讀む、時代小說も讀む、世界の思潮も知ると云ふ有樣で、我も男も同じ人なりと云ふ強い自信が出來て居るのである。これでどうしても昔の女、舊き女と復古さす事は六ケ敷なつて居る。こんな有樣で今日は自分の娘をどう導かうか。自分の女生活をどう敎へようかと心配して居る人が澤山あるのであ

る。また實際若ひ婦人が自ら考へて舊き女には歸れぬし、さらば新しき女になることは恐ろしいと思ふと自己の立場を定め兼て居る眞面目な女性が澤山あるのである。

三　理想の女

それで私はこゝに理想の女と云ふ事を申し度ひのである。さて理想の女が新しき女と違ふ點は其人の思ふまゝ爲たいまゝを爲しても眞の滿足はないと信じて居る事と、自由自儘の行動は決して自由でないと云ふ事を悟つて居る事と、女が男の樣な生活を爲しても眞の幸福永久の幸福はないと知て居る事である。それで新しき女は不平や不滿や小言で其の胸を滿して居るが、理想の女は感謝と滿足と讃美か其の心に一杯になつて居るのである。即ち理想の女は常に凡の時歡喜の念で其の顏が輝て居る者である。さらば此の理想の女性の心とは如何なるものであるかと申せば。

第一　無限絶大の慈愛に富める神を信じて喜んでをる婦人である。彼は朝起る時より終日終夜神の愛の手の内にあるを思ふて喜び、その出遇萬事に感謝して居る。彼は患難の日にも重荷を負ふときも忍び難き苦痛の境遇にある時も大なる慰安を其の心にうけ希望の光明に照されて居る。かく理想の女は其の心常に喜ぶ。宗教的の喜びをもつてをるのである。

次に、理想の女は我も神の子なりとの信念を懷て自重する。その上神が地上に我を生れしめた天命を成就する志に滿されて生を喜んで居る、其喜びは肉の滿足の喜びでない。我儘放題なことを爲して喜ぶ喜びでない。神の旨を成して滿足を感ずる喜びである。即ち神に全き服從をなして喜ぶ從順の喜びと云ふてよい新しき女は從順と云ふ事を苦しき事と思ふて我儘をなしてこそ滿足があると思ふて居るが。こは恐ろしき間違である。三人の婦人が集つて我儘をやつて見たら大騷動で幸福も平和も秩序もそこにはない。而し神の子であると信じて神に從ふ志を堅めて居る婦人が百人千人萬人集まつても其處に叙序あり和樂あり幸福あ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りである。此の神の心に從順な心を養へる女が理想の女である。

第三には理想の女は其の心が洗はれた女、聖別された女である。常に神の前に懺悔して基督の犧牲の血で洗はれた心をもつ女である。即ち罪の荷重のない實に〳〵貴い平和と自由を感ずる心をもつ處の女性である彼は少しの罪も直に捨てる。惡しき思は心に留めぬ。かくて一切の罪より赦された女性である。此の理想の女の常にもつ處の平和と喜びは墮落男子のまねをして酒を呑だり。氣儘遊をしてあゝ面白ひと云ふて居る新しき女の心とは天地の差である。

第四には十字架の上に喜びありとの奥義を悟つて居る婦である。十字架は肉の苦しき尤も烈しき處であるが其の内に靈は喜び精神は滿足して居ると云ふ意味の心である。換言せば人の爲め苦しむ事は無上の慰安と喜悅と滿足に滿さるゝ事を實驗して居る心である。夫の爲め苦しみ、子供の爲め勞し。親の爲めつらい生涯を送つて喜ぶ喜びに等しき精神の働である。即ちこの人生の難事の間に最善を爲して喜ぶ處の犧牲の喜び、奉仕の喜びである此の喜びの意味を味へばこそ千難萬苦を忍びて大君の爲め國家の爲め盡す志士も出るのである。永き貧苦と闘ふて親に孝養を盡す處の孝子も顯るゝのである。而かも此の大精神の結晶は十字架上の基督の心である。かく基督を理想として十字架を負ふて喜ぶ女が理想の女である。

四　結論

結論、斯く論じ來れば理想の女とは全く基督の心を得た女と言はねばならぬ。即ち神の愛を認め、自ら神の愛子であることを確信し、聖き犧牲の精神に滿された基督の心を心とせる婦人こそ理想の女であると申さねばならぬ。今日の時代此の婦人が日本に多く出來ねば舊き女の理想は破壞せられて恐ろしき新しき女の氣風が流れて居る日本の女性を救ふ事が出來ぬと思ふのである。(完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すぎこしかた

矢島楫

芝の櫻川小學校に居りましたのは今から約四十年前の事で、荒井さんは丸髷私は三ッ輪に結ふて只今の女學校の皆様とは全く變つた樣子でありました。この樣子で毎日晝の休になりますと、校長が漢學者でありましたので赤壁の賦を吟じたと覺えて居ります。荒井さんの勉强家に勵まされて自分も進む心になり、それに一組受持ますれば其クラスの事は不殘一人で敎へなければなりませんから、習字と云ふ點に就而は筆法を知らずに生徒を敎ふるのは恐ろしい事と思ひまして、同縣の土肥樵石先生に願て筆法を敎へて頂きました。入門して見ると七八歳の子供を敎へると同じ樣に先生が手をとつて敎へて下され、一畫三折と云ふ法によつてくはしく承り、字の形を習ふのではない、手頸ばかりを動かすのでなく手腕を使はなければならない、一寸の字を書うとするには三寸程を動かさねばならぬと敎へられまして、其御説によつて書いた字と、法を知らない時に書いた文字とは大へんな相違がありまして、この時初めて母の書の眞似が出來なかつた理由を覺りました。それから後は一字を書くのにも先生の眼前に居る時と同じ心を以て筆を運轉する事につとめ一點を打つにも無駄にせぬ樣と心掛けて居ります。

此の外荒井さんと御一所に算盤の稽古に參りました愛宕下に「そろばん指南」と看板のかゝつた所へ參り二一天作の五を習ましたが、授業の戻り途に參る事ですから歸つて食事の前に一度復習を致すと何が何だかさつぱり別らない、それから翌日の仕度を致して朝になつて再び算盤をやると必ずよく別りましたので、算術には頭腦の明かな事の必用を感じました。荒井さんとは無二の御朋友で、學校の戻りに或る時俄かに夕立に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

逢ひまして一枚の毛布を二人で一所に被つた儘、どぶに落ちました、私の方が近かつたですから荒井さんは私の三疊半の部屋で衣物を乾かして御歸りになつた事もあります。

三疊半の部屋を借り受まして住居致したのは以前居りました猿樂町の家は通勤には遠かつた故でございます、此の部屋は愛宕下四丁目の仙臺味噌屋の隱宅であつた。三圓五十錢で賄付、行燈、火鉢、辨當の世話も一切致して呉れ、私は年々給料が増して八圓の給料を受けました。

其當時は大學南校が東校となり、只今の帝國大學が設けられた時でありましたから私の兄などは此進歩して大學までも出來た以上は、國許の人々にも是非勉强させなければならぬ、殊に醫學を研究する人を大學へ入學させたいと云ふ考へで、熊本の醫學校に居つた内の四人を撰んで東上させ其の内一人は兄が學資を負擔する事になり、若しも歸國する場合が起れば必ず後繼者を立て、學資に差支のない樣に致す約定で一人の青年を御世話して居りましたが、急に兄は歸國する事となつて後繼者のために手紙など置て歸りましたけれども、私は兄が約束した事であるから矢島と云ふ名義の許に此の青年を御世話したいと思ひまして、別に兄の後繼者を尋ねませんで、自分の俸給の半ばを割いてさし上ました、この方は只今有名な牧師の一人となられて米國に居られます。國の人が之を見まして私の致方を笑つた方もございます、今から思へば少し大膽の樣にも考へますが、五十錢の小遣で滿足ししかも愉快に少しも不自由を感じませんでした。兎角する内此の某青年は私が四十を越えたる婦人の身としてどんな雪の途も車にのらず兄の約束を實行するために、實に林氏が苦學さるゝにも拘はらず健康に生立ちし身にて御世話になるのは實に心苦しと云ふ意味にて細かに認めたる數葉の手紙を送られて私の補助を辭退されました。其手紙はいつ迄も保存するつもりでしたが今手許に見えないのは實に殘念であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

米國よりの書翰

道雄

クリスマスの一日、今年初めて海外にあつてクリスマスを迎へるので萬事に注意を引かれる、廿四日の夜は十五夜の圓い月が一點の雲もない青い空にかゝつて實にいゝクリスマスの前夜であつた、朝八時に起きて例の道を牧師の家に急ぐ、會ふ人毎に「メリークリスマス」と言替す、牧師の家に入るや否や主人公から「メリークリスマス」を言はれ「自分の方が早くメリークリスマスを云つた」と笑つて居られた、夫人の話に今朝は暗い内からヘレン（小さい方の令孃九才位）は起きたと、何所も同じく子供はプレゼントが見たくつて夜も寢られないのである、客間には前夜一同で飾り付けたクリスマスツリーが今日は已の天下と云はぬ許りに得意になつてゐる、主人公を初め夫人、令孃各々自分のプレゼントを飾り立てゝ見せて呉れる、一つ一つこれは何に、それはこうするものだと皆得意の説明された、喜びの色が家庭の中に溢れて居る、大人も子供も今日は同じ樣に此喜びを如何にして表はすべきかに全力を盡して居るのである。

　僕は仕事が終つてから十時頃歸室した、前日母上から知らせのあつた「クリスマスプレゼントが着いたから取りに來て下さい」と郵便局からの知らせが來て居る、早速受取に行つた、時も時正にいゝ時に着したものだ、母上の心盡し感謝の言もない、母上は小包のことを少し御心配の樣であるが同じアメリカでも桑港とかシカゴとか云ふ樣な大都會では郵便局も忙いし居住人も常に變化するので番地が一つでも違ふともう郵便物が來ない樣な事もある、現に僕も桑港ではたしかに來るべき友人の書信が手に入らなかつた事がある、最も大切なのは番地である、これが違ふと中々受取るに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

困難である、然しオペリンの様な小さい所では配達夫も知合ひになる位、殊に大抵の人は郵便局へ自分の住所を届けて置くから唯オペリンだけで番地も何もなくとも容易に間違ふことはない、それは〱日本以上に親切なものだ。

午後一時からクリスマスの御馳走が始ると云ふので其迄に支度して出かけた、直に母上からの贈物の手拭地を夫人に差上げた同時に僕からもテーブルクロースを渡した、大喜びて早速開いて見る、誰でも米人は人から何か貰へば直ぐ目の前で開いて見るのが習慣であるが大變面白いと思ふ、實は水引きと熨斗でちやんと日本式に包んであると尚のことい丶のだがのしは小林さんから呉れたのを付けて置いた、夫人曰く「あなたの母上はよく自分の欲しいものを知つてゐる」とて非常に喜ばれた、米人は日本固有のものなら喜ぶが少しでも西洋化したものは反つて喜ばない、日本の雑貨でアメリカに來て居るものは餘り日本の商人が米人の好みに合せやうと餘計な苦心をして西洋化して作るので反つて彼等は喜ばないのである、水引きやのしの様な日本獨特の物品が大いに面白いのである、此事は商品許りでない、僕は此事實に少なからず興味を感じて居る。

御馳走には牧師の家族の外に御客分として大學の生徒で當地ホテルに働きながら勉强して居る二人の青年が來た、先達サンクスギービングの御馳走にも此二人は來た、此休みに多くの生徒は大抵各自のホームに歸つて行つたが此二人の青年は僕等と同じく休み中でも働いて飯を食つてるのだ、牧師一家が常にこの様な比較的有福でない者を特に招待するのを僕等は最も大なる尊敬を以て感謝して居る、七面鳥の御馳走を腹一つぱい食した、アイスクリームも例によつて出た、アメリカではアイスクリームはどんな寒中でもある、日本の様にガラ〱やつて作るのではなく大きな會社があつていくらでも配達するのだからわけがない、當地で日本の錢に換算しても未だ安いと思ふもの丶中で牛乳とアイスクリームは一番僕等に有難いものだ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

テーブルの中央にハレーの葉で蔽はれて中にサンタクロースの人形が立つて居る、各自の席の前に白いテーブルクロースの上に赤い細いリボンがある、最初何のためかと思つたが愈々食事も終ると一同同時に其リボンを引張る、するとサンタクロースが顛倒つて中から各自にプレゼントが出てきた、一同早速開いて見せ合ふのである、僕のリボンには一番澤山付いて居てネクタイ、襟巻き、スコットのRob Roy などであつた大騒ぎがすんで皿洗ひを始める、澤山の洗物だから一人でやればかなり時間がかゝるがこんな時には何時も加勢者があるから直ぐすんでしまう、それから男子達は散歩に出た、ストーブで少し暑くなつた顔へ冬の寒い風を心地よく受けながら凡そ三十分も其所此所と語り歩き僕は六時頃歸つた、こんな御馳走の日には夕食がないので大層好都合だ。

　夜は友人の原君と共にバプテスト教會のクリスマス祝會に行く、他の教會は何もしないが此教會許りは祝會を催すのである、會堂内は少し暑い位に温められ、プラットホームの左方にクリスマスツリーが單調な飾物を戴いて立つて居る、飾付けはほんの御印でプラットホームの上に赤や青の紙が長く續いてゐる許り、靈南坂のこつた装飾を見付けた眼には少なからず物足らない、やがて時間が來て會衆一同で「もろびとこぞりてむかへまつれ」の讃美歌を唱つた、大學教授で日曜學校の先生が祈をした、それから後は子供許りで歌だの暗誦だの、御話だの、對話だの全く靈南坂の樣だが唯英語でやるのと皆洋服を着てゐるのが異つた所だ、中で面白いと思つたのは去年靈南坂の幼稚部でやつた、「これはおとうさん」「これはおかあさん」と指を以て表す唱歌を愛らしい子供達が唱つたことだ、最後にあつた十四五の少女六人が天使の姿をしてコーラスの歌に合せながら種々の表情をしたのは眞に美しいものであつた、番組が終ると贈物分配だ、靈南坂なら千頭さんの樣な面白いゝ御爺さんがサンタクロースに化けて一つ一つ木から取つては生徒にやつた、皆同じもの然もそれが飴の箱入りと來ては少なからず驚いた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衛生雜話（醫師に行く迄）

●濕疹　子供の頭や顔などに一寸した濕疹が出來ましたのを其儘にして置きますと痂皮が出來て、だん／＼殖へ、夜分は殊に痒ゆがります。硼酸軟膏かゴマの油をつけて痂皮を剝し、また硼酸軟膏でも亞鉛花軟膏（藥種屋で賣ります）をつけ其上に亞鉛花澱粉をふりかけて空氣の觸れない樣に繃帶を致して置けば忽ち治ります。

道路に守の背に居る子供の頭にずい分ひどい痂皮のあるを見受けますが誠に子供に氣の毒であります。濕疹によりて身體の衰弱する事を思はぬからでありませう。或る人は濕疹を治せば身體に害があるやうに申しますが大へんな間違であります。

●耳糜爛　耳は少々の事でも醫師の診察を受けませんと鼓膜に障ると云ふ恐れがあります。はじめは硼酸水でよくふきまして亞鉛花軟膏を脫脂綿のさきにつけて入れて置きます、腐つた樣な臭がして參りましたら稀薄くといた石炭酸でやはり綿の先につけてふき、その後で亞鉛花軟膏を入れて置きます。

●咳嗽　大人なれば含嗽を致しますが、小供ではそれが出來ません微溫湯に手拭又はフランネルの布を浸し背から胸を卷いて其上に乾いた布をあて丶置きますと餘程よろしいのです。熱度の高い時は冷水の濕布にて度々交換致すのですが勿論醫師の差圖によるのです、只咳嗽だけならば夜分丈でも治ります。

●火傷　一寸した火傷には有合せの油を塗りオレーフ油なら尙よろしいのです。其上から薄く溶いた石炭酸に脫脂綿を浸した者をのせて繃帶をいたします。

水ぶくれになつたものには一寸穿いて水を出し、淡い石炭酸で洗つて亞鉛花澱粉をつけて置きます、やはり油類がよいやうで治るときに醜くならない樣にするため其場所に油を塗るのは善いそうです。

●凍傷　どちらの御宅でも御子樣方の凍傷には同じくおこまりでせうくづれない内はアルコールか樟腦水でよく摩擦し血の循環をよくする事が必要です。最早くづれた者には微溫湯に入れた後に亞鉛花澱粉をつけ脫脂綿をあて、繃帶をして置き、毎日とりかへるのです。

文苑

早春の探梅

女子學院　坂本榮子

緣に迷ふ鶯は未だ來鳴かねどさすがに光れる大空には春の色あり、雪ごけの上に萌れし若草の香は我等の行方に希ある望を漂はし、柔かき固かしき初春の光はこの林にも充ちたり。行けども行けども盡きざる雜木林、或は高き低きみな赤裸々の梢は淋しけれど、何處にか春のにほひかすかにかすかに芽ぐみて笑ましげに瞳に映る時は、實に譬へしもなく嬉し。梅の香慕ひて分け入るよりは、その下に暮るゝまで佇まほしな

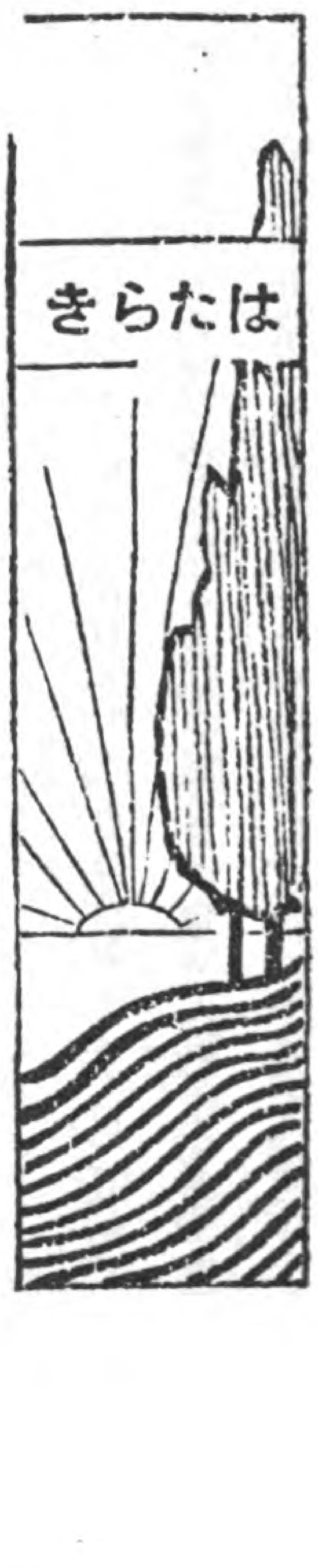
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ご獨思に耽る折しも袂を拂ふ薫風一陣やゝ我胸は躍りぬ。梅が香なり梅が香なり。見よ、つや〳〵しき木々に雜りて白色點々。漸々膨らみそめし蕾の愛らしさよ。まだ村消に殘りたる雪さへあるに、輝くその姿よ。何れの花の匂ぞするとわかれども、尙ほ馥郁として我に迫る。實に氣高くも優しげなる花なれば、人しれず春の香を齎すならんか。我はこの一本の梅を探れて計らずも無言の敎を受たるを喜びぬ。

恩師に謝する文

女子學院　金森たき子

御わかれ申してより直に御氣色伺ひ參ゐらすべきを彼是と取りまぎれ今日に至り〳〵事誠に罪深う存じ候。扨私學校にありし間はたゞに學術を敎へ給はりしのみならず何くれと御保庇下され候ひし御恩惠は終身わするまじく候。扨は斯く家に歸り居り候へども一日も御傍を放れたるつもり無之、常に御俤は見まつるやうにて何事を致し候にも兼て御話し下され候事ども思ひ出でゝは、恐れながら親とたのみまつる事のみ多く候。今となりて殘り多きは彼の事も伺ひ置き此の事も御尋ね致しおき候ひしならばとのみくやしく候へども、世の中の少しも勉強なし能はざる方々に比べては此上もなき幸と存じ、まづ〳〵あきらめ居り候。何卒此上とも御見捨なく御愛顧下さい候やう願ひまつり候、扨此品は甚いかゞはしく候へども御晩食の御箸よごしにもとて御贈り申し上げ候、何とぞ品の粗末なることゝがめ給はず、私の心を御汲みとり下され候やう恐れながら願上げ候まづは右御禮の印までかしこ。(此文は前號に掲載すべきを頁數の都合にて此こにのせぬ記者)



瑞典皇室の御事ども

左は瑞典公使内田夫人より當地に殘されし令孃に送られたる書簡一部の寫なり。瑞典皇室の前途はこの書にさへ現はれて樂しき限りなり(非深)

此頃は交際季節になつて來たので毎日忙しくて困ります、昨夜皇太子と同妃殿下の晩餐によばれて行きました、私は皇太子殿下の左に坐る名譽を持ちましたが、同殿下は英語でも佛語でも自由にはなされるので私にはいつも英語で御話しになります、招待された人は三四十人位でしたが瑞典の習慣として主人はお客の爲に一人毎に杯を擧げる禮式だといふので、殿下も一々杯を擧げられた、日本でも斯ふ云ふ習慣があるかとお尋ねになつたから、やはりありますがそれがため飲み度もないお酒を澤山のまなければならないから、あまりよい習慣ではない

と思ふと申上たら、それもそうだが自分はシャンパンの代りに水を飲んで居るから一向さしつかへないと云はれた、なるほど見ると殿下の前にはシャングラスと水呑グラスの外には何も置てない、そしてシャンパングラスの中には水が入れてあつたので大に感心した、思ふにこの國の人はお酒を澤山飲んで國家の爲め甚だよろしくないと云ふ所から、御自身に手本を出して見せらるゝのであらうと、ます／＼尊敬する氣になつて來た、それでお客には他の晩餐會と同じ様に種々の御酒が出た、食後には兩殿下ともお客のところへ話しに來られ少しも高ぶりたる様子なく、我々と同等に懇意に話され、勿體ないやうに思ひました。妃殿下は先頃日本に行かれた英國のコンノート殿下の妹君で、日本の話も兄君から時々聞かれる様で、一度日本へ行て見たいといつて居られました。

臺灣紀行

ルース、エフ、デビス

神戸婦人矯風會長渡邊常子さんが傳道會の御働きで臺灣に御出になり、御親切に私を御招き下さいました故本部の皆様と御相談を致して出立の事に定め、新橋へは二三の青年と常置員の諸姉を代表して高原さんが御見えになつて御別れを致したのは十二月四日の朝でありました。基隆に九日に着きますと人々の話に臺北から基隆迄來るのは大へんだから迎ひになどは來ないだらうと申しました、馴れない所に一人旅でもし渡邊さんが來て下さらなければ大へんとは思ひましたが、必ず神は助け給ふ又必ず迎いに御出になると信じて居りました故其通りに都合よく參りました。臺北ではもう渡邊さんが何もかも用意して整へて下され中學校の英語の先生の御宅に留めて頂き、地方の有力者殊に内田民政長官に御めにかゝられたのは全く矢島會頭や長尾夫人の御盡力があつたからでありまして、初に斯ふ云ふ方に御逢申したので萬事都合が好かつたのです。

滯在は三週間で十六回の會を開き其他に小さい集りを致し、高等女學校では織田さんが非常に便利を與へて下されたばかりでなく、優待して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

下さる程矯風會の事業を歡迎して居らつしやる事は確であると思ふて居ります。臺灣では餘り御親切であつたから、日本中の尤も親切な方ばかり集つて居らつしやるのかと存じました。そうして私は確に彼處に種を蒔たと信じて居ります。

兵士は立派な大將の許に働く事が名譽であります、どちらに參りましても矢島先生の名の出ない事はない頭に榮光ある霜を頂いた御年にも不拘、優た大將でいらつしやる爲め大へん働きよかつたのです。ある時は禁酒會と青年會と聯合して會を開き、何百人と云ふ程集つた。

日曜日、朝は中學校の先生の聖書の組で話を致し、午後は組合教會で御話を致し、後には少年禁酒軍を建度と思ひました。安息日に餘り安息は出來ませんでした。翌日は赤十字社病院内で「矯風會と家庭の關係」と云ふ題で話を致し、いつも渡邊さんは私の通譯をなさいましてから又御自分の話をなされ御骨折でありました。

臺灣へ參つたから、カツパン山の生蕃人に御目にかゝり度と思ひまして、三好さんに御話致したら、よく御世話をして下され「トロ」に乗て行きました。カツパン山の小學校には生徒五十一人ですが髮を梳た事もない、湯に入た事もない衣物は丸で乞食の様であつた、渡邊さんが此地に參つた初めての人であるそうです、そのわけは此のカツパン山まで婦人などは行つた事はないのであります。渡邊さんが校長に話して衣物を着せる様にとすゝめました、西洋の婦人では私が三番目であると申しました。臺北へ歸りましてから臺中に參り愛國婦人會で御話をしました、臺中は實に綺麗な處で臺中は京都、臺南は大阪と云ふ様な處です。臺南の町長松木夫人は渡邊さんの生徒でしたから便利が多かつた。佐久間總督の立派な御家で行屆た御世話を受ました。臺南では二度集りを開きました。矯風會に御入會なさつた方は二十五六人でせうと思ひます、あとは渡邊さんに御任せして歸途につきました。

時々私共の働はずい分失望しなければなりませんが、善をなすに倦するなくば、必ず思ふたよりも好い結果を得るのでありますから加拉太六ノ九。詩篇九十一ノ一を本年の目印として働く考であります。

デビス

先日寫眞師の許へ參りましたら、私の居る内多人數の觀光團が見えました時、寫眞師は私をよんで「先生結こうな事がございます、もう吉原の繪はがきは觀光團にも一切賣れない規則になつたそうです、之も矯風會の御働でせう」と申しました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

傳道會のために臺北に活動せられし渡邊常子女史よりの書簡

前文云々臺北へ御發送の電報有難く存候、先般デビス孃と角板山蕃童學校參觀後、同校のため何かと同情を寄せ度話し居候處、同孃御歸京の後愛國婦人會茶話會及び組合教會の集會に於て蕃童學校のために同情を求め候結果、金五拾貳圓と古着類三拾四點小妹の手許に參り候につき早速蕃務總長に宛て御屆致し置候ところ左の如き禮狀に接し申候まゝ寫しを御覽に供し候。

拜啓益御清康の段奉大賀候陳者當廳下角板山蕃童教化に關し深き御同情を寄せられし結果、過分なる金圓物品を蕃童に惠贈下され候事と相成大澤蕃務總長より傳送來り候、就而は蕃童教育當事者並に蕃童に對しては御芳情の次第を傳達永く紀念可仕茲に小官代つて御挨拶申上度如此に御座候　敬具

大正二年一月廿一日　桃園廳長西美波

デビス孃殿

渡邊常子殿

角板山(海拔二千九百六十尺)へ臺北より參り候は十二月十七日午前九時の列車に乘じ、同十時過桃園驛着「トロ」に乘じ約一時間半にて大嵙崁に着、一旅館にて晝飯をなし時々疲勞を感じては步行をなし、漸く五時半頃角板山蕃務所駐在所に安着一泊の上丁山巡査の案內にて、愛國婦人會の經營による物品交換所、蕃童學校を參觀致し、生徒數五十貳名內九名女子にして語學數學、唱歌等の練習を視申候教師より彼等が普通の腦力を有するを聞きて喜び、且つ教化上教師の苦心につきて大に同情の念を發揮致したる次第に御座候、教師目下四名の內一名は布教師(本願寺)二名は巡查、壹名は蕃人にて原と臺灣人につきて教育を受けし人なりと承り申候。

臺北貴婦人方も四五月頃には角板山に參るなど申さるゝ方も有之、矯風會を通じて彼等にも他日接近するの道が有之と存候云々。

矯風會設立の義は小妹歸り迄に實行致し兼、創立委員數名の方に御依賴致し置候。

矢島揖子様

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外賓席から見たる衆議院

みどり

風の強い然し温い天氣の三月四日(火)デビス師外數名の外國婦人及來朝中のゴルドン氏等と衆議院に傍聽に出掛けた。

手續などについては一切根本代議士の御親切を賴りに行つた、同氏は我等の爲に總てを用意されてお待ち下さつた、早速傍聽劵を頂いて階上に登つた。傍聽席は滿員の盛況である。吾等は外賓席についた、吾等の外には清國人及二三名の外人と左隣の婦人席にあふれた青年婦人に滿たされて居た、先年傍聽せし時には僅かに四五名の婦人傍聽者ありしのみなりしにと思へば憲政につきての婦人の進歩を證明する實例の如くに感じたことである。

大臣席は皆空であつた、政府委員席は出入繁げく見えた。下の議員席はと見ればこれも空席多くあちこちに立つたまゝの議員もあつた。

大岡議長は高く議長席より議事の進行を努められて居つた。丁度關税定率法中改正法律案につきて提出者岡崎氏の演說中であつた、「米を安く買ふことの出來る樣にする爲の議案かな」などゝ考へて聞いて居るまもなく委員付託となつて議事はずん〳〵進行する「早いものだ」と感心して傍聽して居つた。

大岡議長の聲として日程第五未成年者飮酒取締に關する法律案――委員長根本正君と、いふのを聞いて、早速同行の婦人達に「根本樣のですよ」と告げた、日本語の解らぬゴルドン御夫妻までが、此處こそといふ樣な態度で演壇を見つめられた、然るに議場は又かといふ樣に笑ふ聲が聞えた。

根本代議士は登壇して簡單に提出案の說明をなし贊成を希望して降壇された。唯れ一人拍手するものもない。此時反對者として齋藤隆夫君は、議長に招かれて登壇し先第一に此案に反對であると前提されて其理由を述べられた。根本君は熱心な耶蘇信者でゐるといふことから初まつて聖書には酒を飮んではならぬといふことは書いてないと說明せられ禁酒を宗敎問題に持つて行かずに、法律問題などにするから十數年間の苦心

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も今に其功がないのだと教へられ、其他米國には何州禁酒州があるとか、獨乙皇帝の海軍兵學校でされた演說等につき說明を與へられ、禁酒につきての法律は基督教主義と密接なる關係があると結ばれ、法律として此案を提出さるる事は反對であるが社會問題としては贊成であると述べられた、其後に於て此案が實に粗末な法律の最なるものとして、不完全なる點を指摘するといふて、二三の例をあげられた。其一に

「提出者は幼年者の狹い學生生活のみを見て廣く社會上の生活を見て居られないのである。須らく田舍でも旅行せられて農村の青年の狀態でも御覽になつたら宜からうと思ふ、彼等が如何なる家庭生活をして居るか、如何なる社會生活をして居るかといふことを御覽になるが宜しいのである、彼等は牛馬と選ぶところなき苦役に從事して居るのである。衣食住に付ては何等の快樂を求むる手段はないのである時々青年が集つて、豆腐汁を啜つて濁酒を飲む、而して平生の苦痛を慰め來るべきところの勇氣を鼓舞するといふことは我邦に於て古來からして行はれて居るところの善良なる習慣であります、之を禁止するのが國民の元氣を養成するの道であるか、君が心醉して居らるゝところの基督教主義より觀察して之を禁止するが道德であるか否か云々」

其二

「又料理屋に於きまして老幼相集まつて互に懇親會を開く場合に於きましても、其給仕女は成年者と未成年者とを見分をして未成年者の膳の前には盃を置くことは出來ないのである、未成年者は成年者が酒を飲むのを口を開けて見て喉を鳴らして居らねばならぬのである、懇親會の目的と云ふものは全く破れてしまふのである云々」

此二つの反對例證について私は伺ふて居る間にも、ヒヤ〳〵としたのであつた、此方はお子樣を持つて御出にならぬ方か、さもなくば子供の敎育といふ事については全く無責任な方であると思ふた。むづかしい法律上の事は解らぬ故、兎角申上ることは出來ぬが此二の例については充分申上ることが出來ると思ふた。

反對論を終決される前に同氏は、此案が斷じて否決せられる來年よりは決して根本君も提出されぬ樣希望すと述べられて降壇された。

根本氏は再び立ちて討論された、此間にも反對の聲や、笑聲は熱心なる根本氏を圍んで、其說を眞面目に聞くものもない樣に見えた。私は只涙が流れて頭が重くなつた樣な心地になつた、根本氏はあくまで提出された案につき多方面より述べ訴へて日本帝國の爲に御

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

賛成を希望すとて降壇された。

討論終結の動機が出で、賛成

三讀會を省略して二讀會に於て可決確定せられ目出度本年度衆議院を通過したることとなつた。

根本代議士の固き御志と、熱心なる其御誠心との結果と感謝して殘れる議事も拜聽せず、歸る、

十數年の同氏の御奮闘如何なりしか、今日勝利を得たる日に於てすら吾等涙流れて手開かざる思をなせしに思ひくらぶれば、只々感謝と祈の外はない。場外に出づれば未だ入場し得ず受付に立ちあろく人々數多く見えた。

「子供に禁酒主義を鼓吹しやう、必ず……」と心に心が誓つた。

大阪婦人矯風會傳道課

大正二年一月十八日、青年會館に於て河邊夫人司會の許に、林歌子姉開會の辭を述べらる曰く「目下我邦の現狀は婦人の活動を要する事切にして、殊に我が婦人矯風會、廓清會の事業の如きは最も緊要又適當せるものなれば、我々は自ら進んで時勢の要求に應じ度ものなり云々」之より釘宮牧師は、「舊き女、新しき女、理想の女」(別項参照)につき名出牧師は「婦人の根本義」につき婦人は自ら神の子なりとの自覺の上に立つを要す、之と共にかゝる自覺なき婦人に對して道を傳ふるの必要ありと、懇切に同情的の奬勵を與へらる。會する者百十數名(二宮わさ子)

弘前婦人矯風會母之課

十二月十四日午後二時より、會堂樓上に於て母之會を開く、仙鹿課長司會の下に高谷姉の祈禱ありて後、過去一週年間に於ける各自の感想を隨意に述ぶる事となし、高谷、黒瀧兩姉を初め其他の諸氏思ひ〱の感話に移り、明治四十五年より大正元年に亘たる此年は意外の悲哀と共に多大の教訓とを殘して、將さに終らんとするを語り合ひ又互に恙なく新なる希望をもて年を迎へん事を祈りつゝ惜しき別れを告げしは四時なりき(高杉つる子)

未成年者禁酒法案の否決

未成年者禁酒法案は、別項記載の如く衆議院は大多數を以て通過したが、貴族院にて例年の如き理由を以て遂に大多數を以て否決し去つた。由來貴族の方々の御家庭では、酒を飲む未成年者がないのでせうか。隨分廢嫡になる方も多い樣であるが、あれは酒が原因をなしては居ますまいか。貴族院の反省を促します。(雲)

おとづれ

◉本部だより

三月三日(月)午後三時より芝區三田功運町デピス孃方にて常置員會を催し小崎千代子姉司會し前同の記錄朗讀の後左の事を議せり、

一各課の報告書は複雜に過ぐるを以て本年は改正の必要あるにつき、委員を撰定して、先づ書記より各課長の御意見を求むる事となり委員には井深、守屋、高原の三姉を撰定す。

一本年十月廿三日より同廿八日迄、米國、ニューヨーク、ブルックリンに於て開かるゝ萬國基督敎婦人矯風會大會には代表者として、ミス、ヘラー及目下在米中の岩澤とき子姉に御出席を乞ふため書記より書面を送る事。

一筑前若松婦人矯風會より矢島會頭を招聘致し度しとの書面に關しては同行者の必要あれば守屋東子姉の長崎へ趣かるゝ序に(來ル四月中旬)御同行を願ふ事。

一杉本鉞子姉御病氣につき、常置員を代表して、栗屋、本多の兩姉に御見舞を願ふ事。

右終りて閉會の後デ孃より茶菓を供せられたり、出席員は矢島、本多、根本、井深、小崎パンフハインド、鈴木、守屋、エリス、栗屋、デピス、高原の諸姉なり。

◉芝婦人矯風會

三月一日(土)午後二時より佐竹夫人御宅にて例會を開く、井深夫人司會の下に讃美祈禱を以て開會、同姉の勸話ありたる後、ポールス夫人デピス孃、鵜飼夫人、守屋東子、高原諸姉の各方面に於ける有益なる感話あり、矢島會頭終りの祈禱を捧げられて會を閉ぢ、御厚意によれる茶菓を喫し愉快に散じたり。當日は根本夫人の御熱心により諸所より新らしき方々をも御案内ありし結果四十有餘名の誠に賑やかなる會合を見たり。

◉堺婦人矯風會

一月は新年會を開き會員相互の親睦を計るを例とせしも諒闇中なるを以て祈禱會となし廿一日午後二時より美以敎會にて開會し本會の爲めに祈れり、松尾牧師は會員の修養と云へる主意にて奬勵せられたり、會する者三十人餘、入會者は五名。

二月十八日午後二時より組合敎會に於て故ウヰラード孃の記念會を萬代會長司會の許に開會す、三宅牧師は太廿六〇六——十三を引き讀は一身の粧飾を節し、之を以て社會矯風の爲めに用ひたる働きは遂に本日の矯風會の基となれり恰もキリストに對し香油を塗りたる婦人のなせし事は端なくもキリストの旨に叶ひ此婦人のなせし事は天下の記念となるべしとの仰せの如く一意專心社會の爲めに盡せし働きは巳が名を求むるに非ざるも遂に全世界の大事業の源となりしを思へば吾等の働きはよし小さくとも誠意を以て之に當らば他日大なる好果期して待つべしと熱心に奬勵せられたり、出席者二十人餘、新入會者上井とみ子。

◉弘前婦人矯風會

一月二十五日午後二時より會堂樓上に於て例會を開く、會頭高合姉の司會にて聖書朗讀讃美山鹿よし子姉の祈禱、前同の記錄朗讀會計の報告ありて後、山鹿牧師、馬可傳十二〇三八、貧しき女がレフタニッを箱に入れし例を取り(物より心)てふ題にて北條時賴の古事、其他二三の例を擧げ、現今の社會にては金錢を以て人を左右するの弊風あり、特に近時政界の如きは其弊尤も甚だしきを以て、我々矯風會は家庭に於て只酒や煙草の矯正のみならず、目前に横はりつゝある此忌はしき惡風を根本より矯正するの急務なる事を說かれ、一同大に奬勵せらる。斯くて後讃美を以て閉會を告げ、有志の厚意になれる茶菓を喫し、各自思ひ〳〵の快談に時の移るを忘れ、樂しく散會せり。(高杉つる子)

婦人新報代金領收

一金七拾貳錢　小林たか子
一金九圓　(大正二年分)在布哇　熊田てる子　外八名
一金七拾錢　(大正二年分)　篠原あい子
一金同　(大正二年三月迄)　梅若　夫人
一同　(寄　附)　古　門　氏
一金貳圓拾錢(大正三年度迄)　藤原ふしづ
一金六拾錢　(大正二年十二月迄)　曾田たき子
一同　(同　)　三井　冬次
一金九圓五十錢(百八十八號分)　大阪矯風會
一金拾圓拾四錢　城北支部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□興味あり實益あり□

辻井亭先生著

十歳より
六十歳まで

五十一年

定價六十錢
郵税六錢
四六判二百五十頁

内容の一端

□小督局。姿色美はしき琴に巧みにして(中略)清盛のために捕へられて尼となつた。時に年二十三。

□秋色女。十三歳の時上野觀音堂の邊井の端にありし般若櫻を見て「井のはたの櫻あぶなし酒の醉」と吟じ枝に結び置いた。

□ロダン。十七歳にして始めて塑像の技に對して銅牌を得たのである。

□釋迦牟尼。十九歳にして提婆陀訶城主善覺女耶輸陀羅と結婚した。

本書は古今東西の偉人、達人等約一千人が十歳より六十歳までの間に何を爲したるかを、一目瞭然たらしむべく、其年齢に割當てゝ摘錄したるもの、新式の三世相ともいふべく、又活きたる立志篇、修養書である。誰人にも至極重寶な書である。

□東京京橋銀座　警醒社書店　振替東京五五三番□

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診察 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町
四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二二五七番

看護婦并に見習生

募集

東京芝區葺手町五番地

渡邊看護婦會

會主 渡邊鎌子

電話芝壹三九三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察、月、水、木、金午前、入院、診後應需
林、峰間、兩副長ハ日下當院ニ在勤

東洋內科醫院

電話本局 八八八番（病院用） 八九八番（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長 醫學士 高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

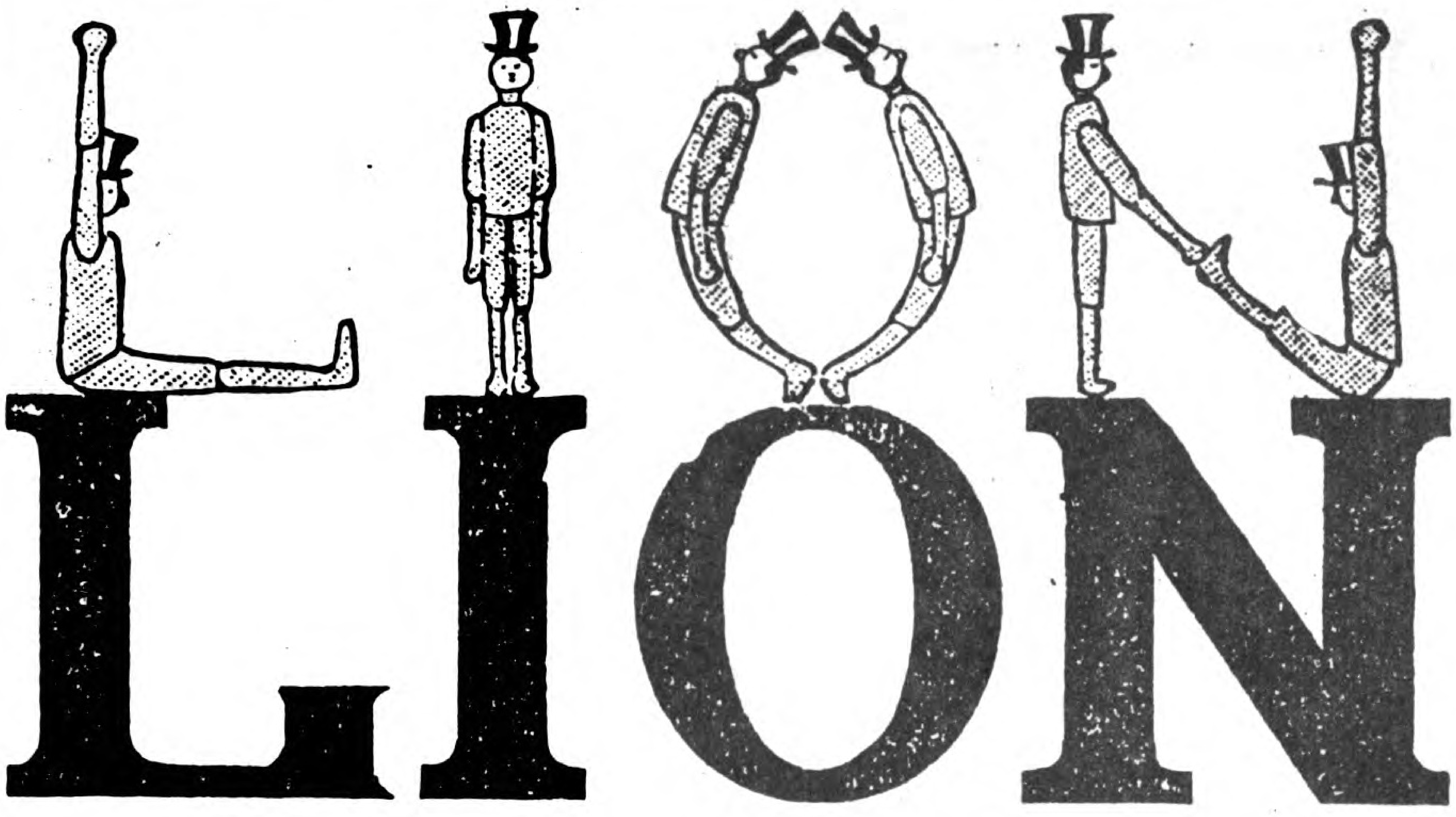
南湖院

電話ちがさき二番

河野、高橋、兩副長ハ日下當院ニ在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(明治四十五年六月廿五日 第三種郵便物認可)婦人新報第百八十九號(大正二年三月二十五日發行 毎月一回廿四日發行納本)



始終神様に近づいて
清い心を持つた者に
何の惡魔が
誘惑の手を擴げましよう。
朝夕ライオン齒磨を使つて
美しい齒を具へた口から
何て病の黴菌が入り込みましよう。

●ライオン齒磨大袋入
は中味が多いから大勢の
御家庭用に至極御徳用です

發賣元 東京 大阪 名古屋 小林富次郎